

もっと ニュース

川薩地区・町子ども会大会



1月19日、川薩地区子ども会大会・創作活動大会並びにさつま町子ども会大会が鶴田中央公民館で開催され、各地区子ども会の活動発表や、ペットボトルを使ってプランターや小物入れなど創作活動体験が行われました。また、ジュニアリーダークラブ「ほたる」のメンバーもボランティアとして参加し、受付や進行に従事しました。

在宅福祉アドバイザー等研修会



1月30日、薩摩農村環境改善センターで、在宅福祉アドバイザー、民生委員、公民会長、地区社会福祉協議会長（館長）、ふれあいサロン代表者が一同に会し、合同研修会を開催しました。「地域で支えあうネットワークづくりとは！」と題して、県社会福祉協議会池下真也氏による講演を聴講し、今後の援助活動に備えました。

この新たな試みとすばらしい演奏に満席の会場からは、割れんばかりの拍手が溢れました。

福岡で町長みずからトップセールス
特産品「春ごぼう」売り込み



福岡大同青果市場での販売促進会の様子

1月28日から29日にかけて、本町特産で春を告げる野菜として親しまれている「春ごぼう」の販売促進会が福岡市の福岡大同青果株式会社が及び量販店で開催され、生産者と町・農協などの関係者をはじめ、井上町長も駆け付け、春ごぼうを売り込みました。

試食宣伝会では、「香りが良く柔らかくてとても美味しい」などの声が聞かれました。

また、取引会議では、産地として計画的に出荷することや、市場関係者から責任販売で産地育成に貢献したいなどの意見交換がなされました。

町では、今後もちこ、トマト、キンカンなど本町の農産物を有利販売するためにトップセールスを実施していく計画です。

夢を奏でるハーモニー

みやんじよ吹奏楽フェスタ



すてきな音色を奏でるまちの音楽家

1月27日、宮之城文化センターで、「みやんじよ吹奏楽フェスタ2008」が開催されました。

盈進小学校、宮之城、鶴田、薩摩中学校、薩摩中央高等学校の吹奏楽部と宮之城吹奏楽団、宮之城にゆかりのある吹奏楽経験者に加え、初参加の鶴田小学校器楽部が出演し、「吹奏楽の町」をPRしました。

今回は各学校の演奏に校歌をワンフレーズずつ入れたたり、薩摩中央高校放送部が司会進行や舞台設営・音響・照明などの運営に協力したり、当日配布されたプログラムの表紙絵には町内各学校から募集し優秀作品を掲載したりと、これまでになく新たな試みで運営されました。

今日は一日薩摩気分
第6回梅の花咲く薩摩ツアー

2月13日、さつま町観光協会の主催で「第6回梅の花咲く薩摩ツアー」が開催されました。

このツアーは鹿児島中央駅を発着する日帰りのバスツアーで、約180人の応募の中から抽選で87人が参加しました。

参加者は、さつま町梅振興会の駒高義久さんの満開に咲いた梅園を訪れ、花見を楽しみました。

また、梅の加工場を見学したり、ガラス工芸館や特産品直売所で買い物したりと薩摩ツアーを満喫されました。

ツアーに参加した高橋ヒロ子さんは「梅の収穫の時期にまた来たい」と話されました。



天日干しの梅を手にする参加者

天文館ママ さつまに御来町
「粋麗会」ガラス工芸館や梅加工場を見学

2月2日、鹿児島市天文館の飲食店のママさんらでつくる「粋麗会」の一行23人が本町を訪れ、ガラス工芸館や南高梅の加工場などを見学されました。

今回の交流は、同会の門口利昭会長が県特産品協会を通じて本町を紹介され、天文館で特産品を紹介できればと考え訪れたものです。

今後は、お店のグラスに薩摩切子を利用したり、南高梅を店で提供するなどアイディアを実用化できるよう、さつま町とタイアップして特産品を生かした店作りやイベントを仕掛けていきたいと話されています。



ガラス工芸館を見学する粋麗会の皆さん

県合唱祭で「濱里賞」受賞
鶴田中学校2年生

1月12日、鹿児島市の宝山ホールで県合唱祭が開催され、県内の小中学校から49校が参加しました。

この大会は、順位を競うものではなく、特に感動を与えた団体に「濱里賞」と「津曲賞」の二つの賞が贈られます。

参加した鶴田中学校2年生は、「HEIWAの鐘」を素晴らしいハーモニーで歌い上げ、万雷の拍手とともに、濱里賞を受賞しました。

受賞後、町教育委員会を訪れ福満隆徳教育長へ受賞の喜びを報告しました。



福満隆徳教育長へ受賞の喜びを報告する鶴田中学校の生徒ら